

の制限の下にこれを使用せよといふ議論の主なる理由が複雑化した状況に適用することの困難な點に存するといふことは恐らく事實であらう。第八表の設例は、これらの方法の正確な使用に必要缺くべからざる細目的算出額を巧妙に明示したものである。

再造時價を減價償却基準として使用することは、物價變動が各綜合的集團に於ける總ての資産に對して均等である場合には、決して綜合命數法を複雑化するものでないこと

に注目しなければならぬ。斯かる場合に於ては、全然同一の綜合率を新しい場合に、適用しても絶對に誤を生ずることはない。然しながら、物價變動が綜合的集團に於ける一切の資産に對して均等でない場合には、綜合率の變更といふことが必要となるかも知れない。蓋し、この様な不均等な物價變動の効果は資産の相對的命數綜合上の變動のそれと同一なるが故であつて、同一の性質の更正を施すことが必要となるのである。(完)

米國道路建設聯邦補助に關する法令 (二)

檜 垣 正 男

○郵便事務支出法 一九二二年六月十九日可決第六十七

議會公法第二四四號抽出 (Post Office Appropriation

Law)

第四條第一項 一九一六年六月十一日可決「州地方郵便道

建設合衆國補助令」及び其増補修正令實行ノ爲該令條項ニ從ヒ消費スベキ國庫金至一九二三年六月卅日會計年度分五千萬弗、至一九二四年六月卅日會計年度分六千五百萬弗、至一九二五年六月卅日會計年度分七千五百萬弗ノ

支出ヲ許可ス

農林大臣ハ本令公布サルルヤ直ニ至一九二三年六月卅日會計年度分支出金五千萬弗ヲ一九二一年九月九日可決聯邦公道令第廿一條ニヨリ各州ニ配賦スベシ、但農林大臣ハ自己ノ手下ニ呈出サレタル計畫案ニ對シテ本支出金ヲ配賦スベク、而シテ農林大臣ニヨルスル計畫案ノ承認ハ之ヲ聯邦政府ノ該計畫ニ對シテ爲ス相應支出金支拂ノ契約的債務ト見做スコトヲ得。

第二項 一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條條項實施ノ爲、該條項ニ從ヒ、森林道及ビ林道ニ對シテ費消サルベキ國庫金至一九二四年六月卅日會計年度分六百五十萬弗、至一九二五年六月卅日會計年度分六百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第三項 本條及ビ地方郵便道建設ノ爲州ニ補助金支出ノ爲現在迄制定サレタル法令中ニ於テ「橋」ナル語ハ鐵道トノ高低交叉ノ踏切ヲ含ム其交叉ハ上下何レニテモ差支ナシ。

第四項 農林大臣ノ爲ス支拂一哩當リ二萬弗ヲ超エザルノ

制限ヲ規定スル一九一九年二月廿八日可決「至一九二〇年六月卅日會計年度遞信省事務支出金令」第五條ハ之ヲ次ノ如ク訂正ス

農林大臣ガ本令若ハ本令補助修正令ニヨル支出金額ヨリ至一九二三年六月卅日會計年度分トシテ支拂ヒ得ル金額ハ一徑間二十呎以上ノ橋梁費ヲ除キ一哩當リ一萬六千二百五十弗ヲ超過スベカラズ、又該會計年度以降ハ一萬五千弗ヲ超過スベカラザルモノトス、但該支拂ノ制限ハ公有地ヲ有セル州ニ適用アルモ一九二一年十一月九日可決「聯邦公道令」第十一條ニヨリ聯邦補助金ノ増加サル步合ニ應ジテ増加サル場合ハ此ノ限りニ非ズ

第五項 一九二一年十一月九日可決「聯邦公道令」第二四條ハ之ヲ左ノ如ク訂正ス。

「州ノ現行憲法又ハ法律ニヨリ其收入ヲ以テ公道建設再建維持ニ充ツルヲ得ザル州ト雖モ農林大臣ガ該州ガ現行憲法法律ノ許ス範圍内ニ於テ本令條項ヲ遵守セルヲ認知

セル場合ハ農林大臣ハ一九二一年十一月九日以後五ヶ年
間ハ該州ノ計畫ヲ承認スルコトヲ得」

第六項 合衆國ノ官吏事務員雇員若ハ州、準州ノ官吏、事務員、雇員、若ハ個人團體組合、法人若ハ個人團體、組合人ノ事務員代理者ガ故意ニ聯邦公道令條項ニヨル使用材料物ノ性質分量價格若ハ工事ノ性質分量若ハ農林大臣ニ呈出セル計畫ノ設計、地圖、概要、契約、建設費等ニ付キ虚偽ノ記載、陳述、報告ヲ爲セル場合又ハ故意ニ聯邦公道令及其修正令ニヨリ農林大臣ノ承認セル計畫建設ノ工事材料ニ付キ虚偽ノ記載、陳述、報告、主張ヲ爲セル場合又ハ、故意ニ聯邦公道令若ハ其増補令ニヨリ要求サレタル報告ニ付キ合衆國ヲ欺ク意志ヲ以テ、虚偽ノ陳述、記載ヲ爲セル場合ハ五ヶ年以下ノ徵役若ハ一萬弗以下ノ罰金、若ハ該範圍内ノ徵役、罰金併科ニ處ス。

第七項 本條ノ何レカノ條項若ハ其何人若ハ何物カヘノ適用ノ無効ナル場合ト雖モ本令殘餘及ビ殘餘ノ物人ニ對スル適用ハ爲ニ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ。

第八項 本條ニ矛盾セル法令及ビ法令ノ一部ハ凡テ之ヲ廢止ス。

一九二二年六月十九日可決

○第六八議會公第三五號抽出（或種ノ法律條項ノ效力ヲ

ハワイ準州ニ擴張スル法令）(An Act to extend the

provisions of certain law to the territory of Hawaii)

至一九二五年六月卅日會計年度ノ開始ト共ニハワイ準州ハ一九一六年六月十一日可決「州地方郵便道合衆國補助令所謂聯邦公道令」及ビ其増補修正令ニヨリ今後及現在ナサル支出金ニ付キ各州ト同様ノ條件ニテ、配賦ヲ受クルヲ得、而シテ該資金分配基準決定ノ計算ニ加ヘ得ラルベシ、但聯邦補助金ヲ受クベキ該準州道路計畫案承認ニ際シテハ、農林大臣ハ國防ノ爲適當ナル道路體系ノ完成ヲ促ス如キ若ハ海港ト國立公園ヲ連結スル如キ計畫案ニ優先權ヲ與フベシ。

○(第六八議會公第四〇七號) (一九一六年七月十一日可決増補修正「州地方郵便道建設合衆國補助令」ノ修正

(F) (An Act to amend the Act entitled "An Act to provide that the United States Shall aid the States in the construction of rural post roads and for other purposes" approved July 11, 1916, as amended and supplemented, and for other purposes.)

第一條 一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」及び其増補修正令ノ條項實施ノ爲、該修正令ニ從ヒ費消サルベキ國庫金至一九二六年六月卅會計年度分七千五百萬弗至一九二七年會計年度分七千五百萬弗ノ支出ヲ許可ス。

農林大臣ハ本令公布後次年一月一日以前ニ、一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十一條ニヨリ、至一九二六年六月卅日會計年度分支出金七千五百萬弗ヲ各州ニ分配スルコトヲ得、又次會計年度ノ開始直前一月一日以前ニ本令若ハ今後爲サルベキ各會計年度分支出金ノ同様ナル分配ヲ爲スベシ、但農林大臣ハ自己ノ手元ニ提出サレタル計畫案ニ對シテ本支出金ヲ配賦スベク而シテ農林

大臣ニヨル計畫ノ三年内ノ承認ハ之ヲ聯邦政府ノ該計畫ニ對シテ爲ス相應支出金支拂ノ契約的債務ト見做スコトヲ得。

第二條 一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條ノ爲森林道若ハ林道ニ對シ第二十三條ニ從ヒ費消サルベキ國庫金至一九二六年六月卅日會計年度分七百五十萬弗、至一九二七年六月卅日會計年度分七百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第三條 農林大臣ハ陸軍大臣ヨリ各州ニ分配スル爲及ビ自己直接監督下ノ道路改良工事ニ使用スル爲交付サレタル品質低下ノ爆發物、爆發物成分ヲ直ニ使用シ得ベキ爆發物、爆發物成分ト交換スルコトヲ得。農林大臣ハ更ニ請負其他ノ方法ニヨリ斯ク交換サレザル品質低下ノ爆發物若ハ爆發物成分ヲ再作業模樣替藥包其他ノ方法ニヨリ使用シ得ル状態ニ戻シ其費用ヲ一九二一年十一月九日可決聯邦公道令ニヨル管理國庫支出金ヨリ支拂フコトヲ得、農林大臣ハ聯邦政府ノ省若ハ局ガ自己ノ活動ニ使用セン

ガ爲要求セル場合ハ斯ル交換ニヨリ得タル物件若ハ再作業模様替藥包其他ノ方法デ變化シタル爆發物若ハ爆發物成分ヲ之ニ交付スルコトヲ得、但斯カル爆發物、爆發的成分ノ保管、取扱、保持、交換、再生模様替、藥包、其他ノ變化ニ要シタル費用ニシテ農林大臣ガ管理支出資金ヨリ支拂ヒタル證明ヲ爲セル金額ハ、該爆發物若ハ爆發物成分ヲ受取リタル聯邦政府ノ省、局、州、其他ノ部局分擔シテ之ヲ辨償スベシ。

第四條 一九二一年十一月九日可決、一九二二年六月十九日及ビ一九二三年一月廿二日ノ法令ニヨリ修正承認サレタル聯邦公道令第十一條ハ、更ニ之ヲ改正シ、「不充用公有地」ナル語ノアル場所ノ次ニ「及ビ課税ヲ賦課シ能ハザル個人若ハ種族ノインデアン指定地」ナル語ヲ挿入スベシ。

第五條 州ノ現行憲法若ハ法律ニヨリ其收入ヲ以テ公道建設再建維持ニ充ツルヲ得ザル州ト雖モ、農林大臣ガ該州ガ現行憲法法律ノ許ス範圍内ニ於テ本令條項ヲ遵守セル

ヲ認知セル場合ハ農林大臣ハ本令公布後三年間ハ該州ノ計畫ヲ承認スルコトヲ得。

第六條 本令條項ト矛盾スル法令若ハ法令ノ一部ハ凡テ之ヲ廢止ス、而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。
一九二五年二月十二日可決。

○(第六八議會公第六一四號)(農林省ニ或種ノ資材機械

設備ヲ交付スル權利義務ヲ陸軍大臣ニ與フル法令)

(An Act to authorize and direct the Secretary of

War to transfer certain materials, machinery, and

equipment to the Department of Agriculture.)

陸軍大臣ハ一九一九年二月廿八日可決「一九二〇年會計年度遞信省事務支出金令」第七條及ビ其修正令ニ依リ公道道路改良ニ使用スル爲次ノ戰備品機械軍隊所屬ノ設備ヲ該軍隊ノ貯藏品中ヨリ之ヲ農林省ニ交付スル權利義務ヲ有ス。即チ道具各部完備セル五噸積毛蟲樣索引車百臺四噸四分ノ三ノ容積ノ自動トラツク一千臺、本條項物件ノ移轉ニ要スル積荷ノ費用ハ農林大臣之ヲ支拂フベシ、又陸軍省ガ

該物件ヲ船舶ニ積込メル場合積込費ハ兩省支出金調整ノ方法ニヨリ之ヲ農林省ヨリ陸軍省ニ支辨スベシ。上記資材機械、設備等ノ所有權ハ公道改良ニ使用スル爲之ヲ州ニ附與シ、該資材、機械設備ハ利用シ得ラルル限り之ヲ個人會社法人等ニ賣リ若ハ所有權ヲ讓渡スベカラズ。

○第六九議會公第四一一號（增補修正、一九一六年）七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」ノ修正令（An Act to amend the Act entitled "An Act

to provide that the United States shall aid the States in the construction of rural post roads and

For other purposes" approved July 11, 1916, as

amended and supplemented, and for other purposes.)

第一條 一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」及ビ其補助修正令條項實施ノ爲、該令條項ニ從ヒテ費消サルベキ國庫金至一九二八年六月卅日會計年度分七千五百萬弗、至一九二九年六月卅日會計年度分七千五百萬弗ノ追加支出ヲ許可ス。

第二條 一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條實施ノ爲、森林道及林道ニ對シ第二十三條條項ニ從ヒテ費消スベキ國庫金至一九二八年六月卅日會計年度分七百五十萬弗至一九二九年會計年度分七百五十萬弗ノ追加支出ヲ許可ス。

農林大臣ハ每會計年度開始直前一月一日以前ニ現在爲サレ今後爲サルベキ支出金ヲ一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條ニヨリ各州ニ配賦スルコトヲ得。

第三條 州ノ現行憲法若ハ法律ニヨリ其收入ヲ以テ公道建設再建維持ニ充ツルヲ得ザル州ト雖モ、農林大臣ガ該州ガ現行法規ノ許ス範圍内ニ於テ本令條項ヲ遵守セルヲ認知セル場合ハ農林大臣ハ本令ノ及ブ期間内ハ該州ノ計畫ヲ承認スルコトヲ得。

第四條 本令ト矛盾スル法令及ビ法令ノ一部ハ總テ之ヲ廢止ス而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九二六年六月廿二日可決。

○（第六九議會公第七七三號、或種ノ道路橋梁ニ聯邦補

助ヲ許可セル法令) (An Act to permit the granting

of federal aid in respect of certain roads and bridges.)

一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」若ハ聯邦公道令ニ關ハラズ農林大臣ハ該令聯邦補助金ヲ通行無料橋建設ノ場合ト同様ナル態様基準ニテ、通行料ヲ取ル州行政区等ノ爲ス橋梁及人口道ニ對シテ擴張スルコトヲ得但此ノ場合該橋梁ハ州行政区等ニヨリ所有サレ經營サレ且該經營ヨリ受クル通行料ハ總テ實際ノ經營維持ノ價格ヨリ少キモノトシ、之ヲ州行政区等ノ該橋建設ノ費用支辨ニ充當スベク、若シ該橋梁建設ニ使用サレタル金額ガ支辨サレタル時ハ該橋使用通行料ノ徵收ハ廢止サルベク、該橋ハ茲後通行無料橋トシテ維持經營サレザルベカラズ。

一九二七年三月三日可決。

○第七十議會公第三九二號抽出) (ヴェルモントニユー

ハンブシャー及ケンタツキノ洪水救濟)

一九二七年ノ洪水ニヨリ道路橋梁ヲ破壞損壞サレ擔稅ガ以上ニ州民財産ニ課稅シ、且斯ル地方的改良回復ノ爲ニ合

衆國ニ何等ノ分擔責任モナキ爲非常ナル經濟的損失ヲ蒙ルル次ノ諸州救濟ノ爲ニ、バーモント二百六十五萬四千弗、ニユウハンブシャー六十五萬三千三百弗、ケンタツキ一百八十八萬九千九百九十四弗合計五百十九萬七千二百九十四弗ヲ即時使用スルコトヲ得、但此支出金ハ農林大臣ノ承認ヲ得テ破壞損壞サレタル道路橋梁ノ回復再配置ノ爲農林大臣ノ發スル規則ニ從ヒ、最モ永久的救濟トナル如キ方法ニテ州道路局之ヲ費消スベシ、但各州ニ對シテ支出サレタル金額ヲ利用セントスル州ハ州資金ヨリ同額金額ヲ該目的ノ爲ニ費消準備セザルベカラズ。

一九二八年四月十六日可決。

○第七十議會公第四五八號) (増補修正一九一六年七月

十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」ノ修正

令) (An Act to amend the Act entitled "An Act

to provide that the United States shall aid the

States in the construction of rural post roads, and

for other purposes" approved July 11, 1916. as

増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第十一條
(法令全書第四十二卷二二二頁)ハ之ヲ改正シ第二項ノ最
後ニ次文ヲ挿入ス。

「尙、最近ノ聯邦戸口調査人口一哩平方十人ヲ越エザル州
内土地ノ全面積ニ對シ、不充當公有地及ビ個人種族ノ不課
税インデアン土地面積ガ五パーセントヲ超ユル州ニ於テハ
農林大臣ハ該州道路局ノ要求アル時ハ、合衆國ノ支拂フベ
キ額ヲ聯邦補助公道第一級道體系計畫及ビ、第一級道體系
ノ道路ト接續又ハ隣接州第一級道體系道ト直接聯結セル第
二級道體系計畫ノ全費用迄増加スルヲ得ベシ但該州ハ農林
大臣ノ指示アル時ハ該金額ヲ同會計年度ノ聯邦補助公道體
系ノ他ノ計畫ニ分賦シ費消スベシ。」

第二條 農林大臣及ビ州道路局ノ意見ニヨリ、一九二一年
十一月九日ノ該令及ビ本令ニヨル公道ニ並木ヲ植エ維持
スルガ望マント考フル時ハ該樹木植培ハ一九二一年十一
月九日ノ該令第八條ニヨル概要書中ニ之ヲ含マシムベ

シ。」

第三條 聯邦資金ノ費消サルベキ聯邦公道體系ハ、其州全
公道哩數ノ七パーセントニ、國有林インデアン指定地、
其他ノ聯邦指定地内ノ該體系哩數ダケ超過スルヲ得ベ
シ。」

第四條 聯邦資金ハ之ヲ部落街路、道路中ニテ沿道部落境
界線内人家平均二百呎ニ對シ一軒以上及ビ人口二千五百
以上ノ箇所ニ之ヲ費消スベシ。但聯邦資金ハ之ヲ最近ノ
戸口調査ニヨリ三千以上ノ人口ヲ有セル部落内ノ若ハ一
部該部落内所在ノ橋梁建設ニ之ヲ費消スルヲ得ズ、但此
ノ制限ハ人口一萬以内ノ部落ト隣接州ノ一點ヲツナグ州
橋若ハ入口道ノニハ適用セズ。

第五條 本令條項ト矛盾セル法令若ハ法令ノ一部ハ之ヲ廢
止ス、而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。
一九二八年五月二十一日可決。

○(第七十議會公第四九三號)(ページニヤ州ヴェルノン
山トワシントンノポートマク川ニ架セルアーリントン

記念橋トシテ記念道ノ調査建設維持ヲ許シ命ズル法

合(An Act to authorize and direct the survey, construction, and maintenance of a memorial highway to connect Mount Vernon, in the State of Virginia, with the arlington Memorial Bridge across the Potomac River at Washington.)

第一條 一九二四年十二月二日可決公決議案第三八條ニ
ヨリ創設サレタル合衆國ジョージワシントン誕生二百年
記念祝賀委員會(以後委員會トシテ引用)ハヴージニヤ
州ノジョージワシントンノ故郷ニシテ生誕地タルヴェル
ノン山トコロンビヤ地方ワシントン市ノポートマク河ニ
架設中ノアリングトン記念橋ノ南端ヲ繋グ適當ナル記念
道建設ニ必要ナル手段ヲ講ジ又其爲合衆國農林省ノ事務
ヲ利用スル權利義務ヲ附與サル。

第二條 農林大臣ハ本令條項實地ノ爲該委員會ト協力スベ
キ權利義務ヲ附與サル、農林大臣ハ第一條中ニ記述セル
二地點間ノ道路ニ必要ナリト認ムル調査ヲ爲サシムベ

シ。該委員會ハ該道ノ建設サルベキ路線ヲ決定スベシ、
農林大臣ハ該道建設ノ爲必要ニシテ、並木樹灌木植栽及
ビ其ノ風景的處置、圍化、其ノ命ズル裝飾的建築物等ノ
條項ヲ含メル設計概要書見積書ヲ作成セシメ該委員會ノ
承認ヲ經ベシ農林大臣ハ入札募集公告ヲ爲シ該道建設工
事ノ請負契約ヲ締結シ之ヲ監督スベシ。

第三條 本令條項ニ從ヒ建設サルベキ公道ハ委員會ノ定ム
ル最小限度ノ有效幅員ヲ保持セシムベク又現在及ビ將來
ノ交通ノ必要及ビ狀態等ニ適當ニ應ズベキ耐久路面ノミ
ヲ以テ之ヲ建設スベシ、農林大臣ハ該公道配置、建設、
維持ノ爲必要ナル合衆國若ハコロンビヤ地方所屬地ヲ占
有スルコトヲ得。

第四條 農林大臣ハ園地ヲ含メル該公道ノ正シキ維持、建
設、配置ノ爲必要ナル土地ヲ買収、沒收、贈與、讓渡、
奉納遺言ニヨル讓渡、其他ノ方法デ何人ヨリモ獲得スル
コトヲ得。農林大臣ハ本令條項實施補助ノ爲如何ナル州
郡、州政治區、個人團體ヨリモ資金ヲ受領スルコトヲ得。

買収、没収ニヨリ得タル土地ニ對シテハ本令條項ニヨル

支出資金若ハ本令條項實施ノ爲寄附サレタル資金ヨリ支拂ヲ爲スベシ。本令條項實施ノ爲ヴァージニア州ノ土地ヲ没収ノ手續ニヨリ獲得スル必要アル時ハ、該手續ハ聯邦沒收手續ニ關聯シテ、現在有效ナル該州法律ニ從フベシ。合衆國ノ該土地所有權ガ合衆國檢事長ヲ満足サスニ非レバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ。

第五條 該道建設後農林大臣ハ之ヲ正シク維持シ、其費用ヲ其目的ノ爲茲ニ許可スル毎年ノ支出資金ヨリ之ヲ支拂フベシ。農林大臣ハ本令ニヨリ建設サルベキ道路上ノ人及ビ車ノ交通ヲ管理シ、該交通及ビ車ノ大小種類、重量、速力ニ對スル制限ヲ含メル該公道ノ凡ユル使用方法ヲ規定セル規則ヲ發布スベシ。但シ上述條項ニ拘ハラズ、合衆國ニヨリ斯クシテ得ラレタル財産權上ニ現在有效ナルヴァージニア州法ニヨル同州裁判權又ハ同州及ビ利害關係ヲ有セル、同州政治區ノ本公道建設ヘノ協力ヲ許可セル一九二六年三月二十五日可決ヴァージニア州會令第四九四

章ハ是ガ爲影響サルルコトナシ。

第六條 本令條項實施ノ爲全部又ハ必要ナル額費消シ得ベキ國庫金至一九二八年六月三十日會計年度分五十萬弗、至一九二九年六月三十日會計年度分二百萬弗、至一九三〇年六月三十日會計年度分百萬弗、至一九三一年六月三十日會計年度分百萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第七條 本令若ハ其補助修正令ニヨル支出金ヨリ農林大臣ハワシントン市其他ノ地ニ於テ補助者、技術者、屬官其他ノ人員ヲ雇ヒ本令ニ從ヒ奉仕スベク正當ニ政府ニ雇傭サレタル人々ノ給料ヲ支拂ヒ本令條項實施ノ爲必要ト認ムル旅費其他ノ經費ヲ支拂フコトヲ得。

一九二八年五月二十三日可決。

○(第七十議會公第五一九號)(増補修正一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」ノ修正令)

第一條 一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」及ビ其増補修正令實行ノ爲該令條項ニ從ヒ

費消サルベキ國庫金、至一九三〇年六月三十日會計年度分七千五百萬弗至一九三一年六月三十日會計年度分七千五百萬弗ノ追加支出ヲ許可ス。

第二條 一九二二年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條項實施ノ爲該條ニ從ヒ、森林道及ビ林道ノ爲費消サルベキ國庫金至一九三〇年六月三十日會計年度分七百五十萬弗至一九三一年六月三十日會計年度分七百五十萬弗ノ追加支出ヲ許可ス。

第三條 本令條項ト矛盾セル法令及ビ法令ノ一部ハ總テ之ヲ廢止ス而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九二八年五月二十六日可決。

○(第七十議會公第五二〇號)(インディアン取置地上道路

支出金令(An Act to authorize an appropriation

for roads on Indian reservations.)

聯邦公道令ニ依リテハ政府補助金ヲ受クル資格ナキ且內務大臣制定ノ規則ニヨル他ノ支出金利用ノ道ナキインデア

督、技術及ビインディアン勞働者雇傭ノ費用ニ費消スル爲國庫金ノ支出ヲ許可ス。

一九二八年五月二十六日可決。

○(第七十議會公第八四三號抽出)

一九二七年ノ洪水ニ依リ道路橋梁ヲ損壞破壞サレ、擔稅力以上ニ州民財產ニ課稅シ且斯ル地方的改良回復ノ爲ニ合衆國ニ何等ノ分擔責任モ無キ爲非常ナル經濟的損失ヲ蒙レル次ノ諸州救濟ノ爲ミゾウリー二十五萬八千四百十八弗、シツピー六二萬八〇〇〇弗、ルイジアナ十九萬七五八二弗、アルカナサス一八〇萬弗合計三六五萬四〇〇〇弗ヲ即時且悉ク使用スルコトヲ得、但將來ノ建設ニ利用スベキ支出金ノ部分ハ農林大臣ノ承認ヲ得テ破壞サレタル道路橋梁ノ回復再配置ノ爲農林大臣ノ發スル規則ニ從ヒ最モ永久的救濟トナル如キ方法ニテ州道路局之ヲ費消スベシ、但各州ニ對シテ支出サレタル金額ヲ利用セントスル州ハ州資金ヨリ同額金額ヲ該目的ノ爲ニ消費若ハ準備セザルベカラズ、尙道路橋梁ガ損壞破壞サレタルモノヨリ高價ナル型ニ建設セラレ

若ハ建設セラレタル時ハ其増加セル部分ハ本支出金ヨリ之ヲ支辨スベカラズ。

一九二九年二月二十八日可決。

○(第七十議會公決議第四〇號)(西部ヘミスワイヤニ於

ケル全米公道建設補助合同決議)(Joint Resolution

Authorizing assistance in the construction of an inter-American highway on the Western Hemisphere.)

キューバ島ハバナニ開催セラレタル第六回アメリカ諸國國際會議ノ「今年七月リオデジヤネイロニ開催サル汎米道路會議ノ際ハ大陸縱斷交通道建設ヘノ考慮、及ビ協約ノ締結及ビ本問題決定ノ際含マルル調査、路線、支線、異國家間ノ技術的經濟的提携其他ノ事項ノ考慮決定ヲ爲ス、汎米聯合ハ本決議ニ有效ナル情報編纂計畫準備ヲ爲シ、其資料ヲ適當ナル機會ニ汎米公道會議ニ提出スベシ」ナル決議ヲ前提トスル決議。

北米合衆國政府ハ上述決議ノ目的ノ爲ニ最大ノ關心ヲ示

スベシ、又本目的事項ノ速ナル達成ノ爲大統領ハ政府諸機關ヲ指揮シ又該事項ガ來ルベキ道路會議ニ充分考慮サルニ實行シ易ク、適當ナル協力助力ヲ與ヘシムベシ、且又大統領ハ斯クテ達成シタル結論及ビ道路會議ニ提議サルベキ事項ヲ議會ニ通告スベシ。

一九二八年五月四日可決。

○(第七十議會公決議第四三號)(合衆國道路局ヲシテフ

ロリダ州キーウエストヨリ大陸本土ニ至ル海上ヲ通過スル公道ノ未完成橋梁ノ調査ヲ爲シ建設費ノ確定調査結果ノ議會ヘノ報告等ヲ爲サシムル合同決議)

フロリダ州ムンロー郡ハキーウエストヨリ本土ニ至ル海上通過公道建設ノ爲多額ノ金額ヲ保證セル故ニ、又フロリダ州ハ州道路資金ヨリ該道建設ノ爲多額ノ金額ヲ費消セル故ニ又デイド郡ハカナダヨリキーウエストニ至ル所謂合衆國公道第一號ナル主要道ノ自郡分擔部分ヲ完成セル故ニ又本道ハ數箇ノ橋梁建設以外ノ現在完成セル故ニ、北米合衆國議會兩院ハ左ノ如ク決議ス。

合衆國道路局ハ該橋建設費用ヲ確定スル爲調査ヲ爲シ其結果ヲ最モ速ニ議會ニ報告スベキ權利義務ヲ與ヘラル。

一九二八年五月十六日可決。

○(第七一議會公第七一號)(一九二九年ノ洪水ニヨル道路橋梁ノ破壞損壞ニ對シアラバマ州ヲ救済スル法令)

一九二九年ノ洪水ニヨリ道路橋梁ヲ損壞破壞サレ、擔稅力以上ニ州民財産ニ課稅シ、異常ナル經濟的損失ヲ蒙リ、非常ナル困窮緊急ノ狀態ニアルアラバマ州救済ノ爲合衆國ノ辨償若ハ義捐金トシテ國庫金百六十六萬弗ノ支出ヲ許可ス。將來ノ建設ニ利用スベキ支出金ノ部分ハ農林大臣ノ承認ヲ得テ破壞損壞サレタル道路橋梁ノ回復再配置ノ爲農林大臣ノ發スル規定ニ從ヒ最ヒ永久的救済トナル如キ方法ニテ州道路局之ヲ費消スベシ。但該州ニ支出サレタル金額ヲ利用セントスル時ハ本令公布前後ヲ問ハズ州資金ヨリ同額金額ヲ該目的ノ爲農林大臣ノ満足スル程度ニ消費若ハ準備セザルベカラズ。本令ハ該橋梁道路回復ニ關聯シ合衆國側ニ何等ノ責任ヲモ分擔サスモノニ非ズ但農林大臣ハ本令條

項實施ノ爲該支出金ノ二五パーセント以下ノ金額ヲ使用シテワシントン市其他ニ於テ本令目的遂行ノ爲必要ト考フル補助者屬官其他ノ人員ヲ雇傭シ、資材物件、設備調度ヲ買ヒ、旅費其他ノ入費ニ充テシムルコトヲ得、尙本令支出金ハ之ヲアラバマ州ノ聯邦公道體系中ノ道路橋梁若ハ該道路橋梁ノ必要ナル回復ニノミ使用スルコトヲ得。

一九三〇年三月十二日可決。

○(第七一議會公第八八號)(バージニア州ノヴェロノ山トワシントンノポトコック河ニ架セルアーリントン記念橋トヲ繋グ記念道ノ調査建設維持ヲ許シ命スル法令)ニ新シク第八條第九條ヲ挿入シ修正スル法令)

一九二八年五月二十三日可決(法令全書第四十五卷七二頁一七二二頁)ヴァージニア州ノヴェロノ山トワシントンノポトコック河ニ架セルアーリントン記念橋トヲ繋グ記念道ノ調査建設維持ヲ許シ命ズル法令ハ次ノ如キ第八條第九條ノ二條ヲ挿入シ之ヲ改正ス。

第八條 第十四番街端ポトマク河ニ架セル現存公道橋ト

該公道トノ適當ナル交通聯絡ヲ爲ス爲農林大臣ハ、該橋南端ヨリ第二番目ノ橋脚ヲ橋臺ニ變ヘ該橋南二徑間ヲ道路ニ變ヘ適當ナル鋪裝及ビ軌道ノ改築ヲナシソレニ關聯シテ必要ナル凡ユル他ノ工事ヲ爲スコトヲ得。該目的及ビ工事中ノ交通管理ノ計畫概要ハ之ヲコロンビア地方委員會ニ提出シ其承認ヲ受クベシ。取外サレタル該橋南ニ徑間ハコロンビア地方有財産ニシテ農林大臣ハ之ヲ該地方委員會ノ要求スル該州内ノ地點ニ運搬スベシ。工事成後該橋臺及ビ道路ハコロンビア地方委員會之ヲ維持管理スベシ。該橋ニ連繫セル道路及ビ其他ノ建造物ハ農林大臣本令記念道ノ一部トシテ之ヲ維持管理スベシ。農林大臣ノ本令條項實施ノ爲使用シタル建設費用ハ之ヲコロンビア地方若ハ該橋上通行軌條會社ニ賦課シ若ハ之ヲソテ支辨セシムベカラズ。

第九條 農林大臣ハ委員會ノ承認ヲ得テモントヴェローン遺留地ノ人口ニ農林大臣ノ獲得セル者ハ獲得スベキ土地ニ料理店飲食物土產品賣店ノ爲適當ナル地所ヲ有セル娯樂場休息所ヲ含メル適當ナル居留所休養所建設ヲ意ニ叶

ヘル個人會社法人ト契約スルコトヲ得。該協約ハ農林大臣及ビ委員會可決ノ設計概要ニ從ヒ、個人、會社團體法人ニヨリ建物ヲ建ツルコト其工事ハ建設中、完成後總テ農林大臣ノ監督、承認ヲ受クベキコト等ノ事項ヲ規約ス。該契約ハ又明白ニ該建物ノ所有權ハ合衆國之ヲ有シ農林大臣ノ規定スル取消事項ヲモ含メル條件ノ下ニ個人、團體、法人ニ貸與スベキコト、及ビ該建物完成且農林大臣ノ最近ノ自由ナル承認アリタル後十年以内ノ期間土産、飲食物ノ賣店ヲ作ル特權ヲ規定スル條項ヲ含ム、該契約ヲ締結スル個人會社法人ハ一九三二年一月一日以前ニ該建物ヲ本令條項ニ從ヒ完成スベシ。貸與若ハ特權期間ノ消滅スルト共ニ該建物ハ凡ユル煩雜ナル權利主張ヲ斥ケ合衆國ノ財産トナリ、其後農林大臣ハ時トシテ該居留所ヲ新基準ノ下ニ經營サスベク新契約ヲ爲スコトヲ得、農林大臣ガ満足ナル上記契約ヲ爲ス能ハザル時ハ自ら本令支出金ニヨリ適當ナル居留所ヲ建設シ、意ニ叶ヘル個人會社法人ト契約シ之ヲ貸貸シ經營セシム、但建設設計ハ美術委員會ノ承認ヲ經ベシ。」

一九三〇年四月三日可決。